

平成16年 1月17日

ここのえ町

第64号

発行／九重町議会

〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集／議会広報編集委員会

印刷／尾花印刷有限会社

議会だより



九重森林公園スキー場で初滑りを楽しむ

12
月
定
例
会

- **第4回定例会** 補正予算関係・契約関係・条例関係 P.2
- **人事案件 陳情・請願** P.3
- **14年度 決算審査報告** P.4
- **議員発議** P.5
- **玖珠郡の合併を考える** P.6
- **一般質問（6名登壇）** P.7～12
- **わたしのひとこと**
 - 野上 田辺誠之助さん P.13
 - 飯田 藤井 衛子さん
 - 飯田小学校6年 赤峰由理花さん P.14

平成15年

第4回定例会

12月
定例議会



鳴子川溪谷事業中村エリア駐車場の造成工事

平成15年第4回定例議会は、12月10日から12月19日までの会期で開催しました。一般会計補正予算、特別会計補正予算、平成14年度決算、人事案件、条例改正など議案が提出され、いずれも可決認定しました。

補正予算は一般会計1億3千8百46万円を追加し、歳入歳出予算の総額は81億3百34万円に、また、特別会計は、国民健康保険会計に94万8千円、介護保険会計に1千百52万2千円、を追加しました。

補正予算の主な内容

- 鳴子川溪谷及び周辺整備事業費
約6千5百万円
- 町道宝泉寺栗原線整備費
約4千5百万円
- 恵良住宅建設事業費
約1千4百万円
- 活いききランド体育施設費
約1千7百万円

契約関係



新に設置される無線放送施設

- 日出生台演習場周辺無線放送施設工事
契約金額 3億9千6百90万円
契約方法 指名競争入札
契約者 日本無線(株)
- 九州支社長 松尾 二郎
- 鳴子川溪谷整備事業中村エリア駐車場造成工事
契約金額 1億4千7百万円
契約方法 指名競争入札
契約者 豊州建設(株)
- 代表取締役 安部 匡史
- 鳴子川溪谷整備事業町道北方大吊橋線道路改良工事
契約金額 5千7百33万円
契約方法 指名競争入札
契約者 (株) 福井組
代表取締役 井原 淳一

条例関係等の議案

九重町過疎地域自立促進計画の一部変更については、

九重町過疎地域自立促進計画の一部変更については、

九重町過疎地域自立促進計画に「肉用牛増頭多目的利用施設建設事業」を追加するものであり、適当であるとの結論に達しました。

各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正については、

前期日前投票制度の創設により別表に「期日前投票所の投票管理者の報酬1万1千2百円」及び「期日前投票所の投票立会人の報酬9千6百円」を追加するものであり、適当であるとの結論に達しました。

字の区域変更については、

県営中山間総合整備事業において、土地改良事業を施工したことにより、

字界を変更する必要があるため、土地改良法の規定に基づき議会の議決を

建設産業

中板地区土地改良事業の施工については、

同本事業の執行に当たっては、県知事の同意を得なければならぬことになつてゐるがそのために行われる協議においては、議会の議決が必要とされていることから適当であるとの結論に達しました。

町道宮の上線については、

平成15年第3回定例会において、町道編入の陳情を議会採択したものに係わる道路廃止及び道路認定の提案であり適当であるとの結論に達しました。



教育委員会委員

若松平八郎氏の
再任に同意



平成16年1月26日で任期満了となるため、再任に満場一致で同意しました。

人権擁護委員

赤峰佐代子氏の
推薦に同意



現職の森勝子氏の任期満了が平成16年4月30日までとなるため、後任の人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦しました。

みなさん方の陳情や 請願はこうなりました。

陳情

東方塾塾長、梅木義邦氏外3名からの地域と中小企業への金融環境を活性化させる法律「金融アセスメント法」の制定を求める意見書の提出については。

我が国においても地域経済と中小企業への円滑な資金需要や不公平な取引慣行の是正を軸として、金融機関の自主的な取り組みを事後的に評価するとともに、その公共的役割や利用者への利便性を軽視しがちな金融機関を中小企業に向けさせる「金融アセスメント法」の制定を求める陳情であり採択することで意見の一致をみました。

国土交通省全建設労働組合大分県支部、支部長

佐藤祐生氏からの国民本位の公共事業推進と直轄事業の執行体制の拡充を求める意見書の提出については。

国民、住民の命と暮らしに直結する防災事業や基幹的道路の管理等は、引き続き国が責任を持つて行うべきであると考えている。よって採択すること意見の一致をみました。

奥双石区長梅木勝利氏外2名からの町道認定については。

現地を調査した結果、草刈りや側溝の土砂除去等が良くされており、受益者の日々の努力がうかがえると共に陳情の主旨のとおり維持管理に困難を極めていることや迂回路の必要性については理解し得るところである。然しながら本路線は林道としての性格が強く、生

活道路としての利用頻度は極めて低いと思われることなどから、如何に斟酌しても現状においては、要件を満たし得ないと判断し、不採択とすること意見の一致を見ました。

九重町立野矢小学校PTA会長、佐藤義明氏外1名からの教職員の加配については。

今年度も複式学級が2学級想定されることから、授業の困難解消を図るためには、陳情の趣旨に沿った教職員の加配が必要であると考えている。よって採択とすることで意見の一致をみました。

九重町幼稚園PTA連合会有志代表増田裕子氏からの幼、保一体化に伴う施設の統廃合については。

執行部が関係者を含めた検討委員会を設立し検討中であることから、委員会としても検討委員会の結果が出るまで継続審査とすることで意見の一致をみました。

請願

部落開放同盟大分県連合会執行委員長、山崎千利氏外1名からの高校奨学金制度の抜本的な改善拡充を求める意見書の提出を求める請願については。

日本育英会の独立行政法人化に伴い国がこれまで行ってきた高等学校奨学金事業が県に移管され

ることとなったが事業主体である大分県においては厳しい財政状況下にあることから請願の中にあるように危惧される面も予想される。これらに鑑み請願者の願意である経済的困難を抱えた子供達が就学するために、有効な奨学金制度を確立するよう要請することに賛同できることから採択とすること意見の一致をみました。



町道認定の要望が出された林道鹿伏岳線

平成14年度 決算

歳出総額 104億66百万円

貯金はこれだけです

基金名	14年度末残高
財 政 調 整 基 金	430,271千円
減 債 基 金	1,000,361千円
町 有 施 設 整 備 基 金	1,095,129千円
地 域 振 興 基 金	30,654千円
環 境 整 備 基 金	50,515千円
ふるさと創生事業基金	1,012,290千円
特定農山村総合支援事業基金	7,783千円
家畜導入事業資金供給事業基金	8,751千円
スクールバス事業基金	56,962千円
ふるさと農村活性化基金	10,640千円
福 祉 基 金	207,424千円
足 立 敬 老 基 金	10,000千円
飯田小学校図書整備基金	10,000千円
飯田中学校図書整備基金	10,000千円
土 地 開 発 基 金	138,498千円
特 別 導 入 事 業 基 金	49,631千円
用 品 調 達 基 金	10,000千円
国民年金印紙購入基金	0千円
災害住宅資金貸付基金	3,000千円
国民健康保険基金	327,633千円
高額療養費貸付基金	5,000千円
水 道 基 金	198,642千円
介護保険円滑導入基金	0千円
介 護 保 険 基 金	20,000千円
飯田高原診療所施設整備基金	2,000千円
合 計	4,695,184千円

決算審査報告

《一般会計》歳入における

決算額は70億1千9百4万7千202円で前年に比較して12・7%減少をしているが、大型事業の減少に伴うもので歳入の基本である町税の減少は将来を憂慮される状況であり今後の推移が危惧されるところである。

町税の滞納繰越分を含めた収入未済額は4千3百23万4千85円となっており、年々増加の傾向にあり、税制度における公

平の原則を図るためには徴収体制を十分強化され、不納欠損額の発生を抑える対策が望まれる。

歳出は65億4千7百9万2千51円で前年対比で15・1%の減となつてい

る。経常収支比率は82・6%で対前年比1.5ポイント上昇しており若干財政の硬直化もみられる。

《特別会計》

国民健康保険会計

歳入11億1千2百37万6千7百94円で前年度より8・53%の減少となつ

ている。保険給付費の減少や老人保険拠出の減少が主因で今後は老人の生きがい対策や元氣老人対策を積極的に取り組み、行政効果を上げることが望ましいと考える。収入未済、不納欠損額の合計

が3千5百24万1千円となつてい

る。高年齢者には手ごろな大ききで効果も感じられるがハウス自体に事業の表示がなされるとさらにピ

あり、一層の努力が必要と思われる。

《現地調査》

（緊急通報システム）

高年齢化が進むにつれ、事業の必要性は高まる中で、町内業者に委託できる部分は委託することが望ましい。

以上、審査結果の報告をする。

園芸施設（果樹）

ブルーベリーの推進と商品開発を早急に取り組むべきである。

いきいきハウス

高年齢者には手ごろな大ききで効果も感じられるがハウス自体に事業の表示がなされるとさらにピ

家畜排泄物処理施設

排水溝（尿だめ）対策や水分調整を十分に

目的を達成することが望まれる。

以上、審査結果の報告をする。

発 議

「金融アセスメント法」 の制定を求める意見書

今日の金融環境は、貸

し渋り問題を再燃させ不良債権の最終処理は連鎖倒産や失業者の増大を招く恐れがある。又ペイオフ解禁は預金者の不安から特定金融機関が集中し、地域金融機関は資金不足を加速させることも懸念される。このような中、早くから金融自由化が進められているアメリカにおいて、地域経済を守り活性化させたと高く評価されている地域再投資法を参考にして、我が国においても地域経済と中小企業への円滑な資金需給や不公平な取引慣行の是正を軸として金融機関の自主的な取り組みを事後的に評価するとともに、その公共的役割や利用者への利便性を軽視しがちな金融機関を地域経済や中小企業に向けさせることが必要。よって国会及

び政府においては、地域と中小企業への円滑な資金提供で努力する金融機関を正しく評価する「金融アセスメント法」を早急に制定されるよう強く要望する。

国民本位の公共事業推進と直轄事業の執行体制の拡充を求める意見書

我が国は国民生活や経済の基盤である道路、河川等の社会資本整備が立ち遅れており、毎年のように地震や台風等の災害により多くの尊い生命と財産が失われている。その結果多くの国民が災害に対する安全性、自然環境の保護、身近な生活環境施設の整備などを求め

ており、国土整備、保全事業を推進する上で公共事業とりわけ直轄事業の果たす役割が一層大きくなっている。政府に対して次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

一、直轄事業区間の見直しにあたっては、地域の実態や意見を尊重し反映する手立てを講ずること。

二、「財源を伴わない地方分権」は地域間格差を一層拡大するため行わないこと。

三、地方財源を一層悪化させる補助金の廃止や削減は行わないと共に地方自治の拡充のために税源配分の見直しを行うこと。

四、公共事業の公正、民主、効率的な執行や良質な社会資本整備のため事務所、出張所の統廃合を行うのではなく、それに見合った機構の整備拡充と必要な職員を確保すること。

地方特定道路整備事業の制度の継続に関する意見書

道路は生活や経済、社会活動を支える最も基礎的な社会基盤施設であり、

活力ある地域づくりを推進し、安全で安心できる国土の実現を図るために

高校奨学金制度の抜本的な改善、拡充を求める意見書

本格的改善と拡充を行うこと。

日本最大の奨学金制度を実施している日本育英会の独立行政法人化に伴い、平成十七年度より国の高等学校奨学金事業が各都道府県に移管されることになる。現下の厳しい経済情勢の中、就学支援を求める住民の声は高まってきており、奨学事業が社会のセーフティー

二、生活保護世帯や低所得者層など経済的困難を抱えた家庭に属する子供達の就学を奨励するために学業継続に向けた積極的な支援策を講ずること。

ネットとして果たした役割は従来にも増して重要になっている。地方移管後における高校奨学金事業の実施にあたっては、左記の事業を十分踏まえ、奨学金制度の実施と運用がなされるよう強く要望する。

三、教育施策や福祉施策として現行縦割りで実施されている各種就学支援制度について一人ひとりの住民ニーズにあった情報提供と学業継続に向けた適切な支援を行うために奨学金制度など就学支援制度活用にあたっての身近な窓口相談事業を実施すること。又就学支援制度ならびに窓口相談事業についての住民への周知などきめ細かな情報提供に努めること。

一、地方移管後の高校奨学金制度に関してこれまで各都道府県制度において実施してきた各種奨学金制度の成果と役割を踏まえるとともに、経済的理由によって学ぶ権利が侵害されることがないよう

に高校奨学金制度の抜



道路は生活や経済、社会活動を支える最も基礎的な社会基盤施設であり、活力ある地域づくりを推進し、安全で安心できる国土の実現を図るために



玖珠郡合併協議会幹事会へ申し入れ

九重町議会は全員協議会を開き、もし合併をした場合は、議員定数を26名として、対等という視点から、13名対13名の同数とし、10年程度は、それぞれ小選挙区で実施することや、合併と同時に失職し、設置選挙（出直し選挙）をすることなどを申しあわせた。

市と町村の主な相違点

区 分	市	町 村
処 理 す る 事 務	・ 福祉事務所の設置が義務づけられている。 ・ 社会福祉主事を置き、生活保護等の事務を直接処理する。	・ 福祉事務所の設置は任意とされている。生活保護法等の事務は県が処理する。
議 員 の 定 数	・ 人口5万人未満の議員の定数は26人。	・ 人口2万人以上の議員の定数は26人。
議 決 事 項	・ 工事等の契約 1億5,000万円以上 ・ 不動産、動産の売買 2,000万円以上	・ 工事等の契約 5,000万円以上 ・ 不動産、動産の売買 700万円以上
選 挙 制 度	・ 選挙管理委員会に書記長、書記その他の職員を置く。 ・ 指定都市以外の市の議員及び長の選挙期間は7日間。 供託金 市長 100万円 市議会 30万円	・ 選挙管理委員会に書記その他の職員を置く。 ・ 議員及び長の選挙期間は5日間。 供託金 町長 50万円
監 査 委 員 の 定 数	・ 人口25万人未満の市は3人又は2人。	・ 2人
地 方 交 付 税	・ 福祉事務所の設置及び生活保護等に関する経費について、地方交付税の基準財政需要額に算入される。	・ 左の経費は、地方交付税の基準財政需要額に算入されない。
市 町 村 民 税 (均等割)	・ 人口50万人以上の市 3,000円 ・ 人口5万人以上50万人未満の市 2,500円 ・ 5万人未満の市 2,000円	・ 2,000円

財政状況 平成14年度(普通会計)玖珠九重地域の決算見込み

(単位：千円・%)

区 分	玖 珠 町	九 重 町	計 (平均)
歳 入 総 額	8,286,562	7,019,047	15,305,609
歳 出 総 額	7,956,851	6,547,092	14,503,943
標 準 財 政 規 模	4,842,247	3,738,895	8,581,142
財 政 力 指 数 (3 年 平 均)	0.340	0.362	0.351
自 主 財 源 比 率	25.6	38.7	32.15
経 常 収 支 比 率	86.2	82.6	84.4
公 債 費 比 率	9.9	3.9	6.9
地 方 債 現 在 高	6,310,083	2,784,804	9,094,887
積 立 金 現 在 高	3,790,826	3,942,780	7,733,606

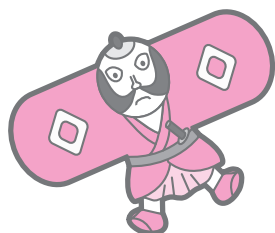
玖珠郡の合併を考える

田の中の湯は どうする

町長／覚え書に基づき努力する



大石 光 則



問 大字湯坪の田の中の湯は、今止まっている。地元としては、なんとか元に戻してほしいと言っている。町は九電との交渉を誠意をもって進めてほしい。新規掘削が駄目なら分湯については組合は無理と言っているので、筋湯温泉供給会社からの引湯は出来ないか？

答 源泉の復旧なら、洗浄工事することしか今の方法はないと地元伝えてあり、回答待ち。筋湯温泉供給会社からの引湯は金額がかかりすぎるから無理である。

町として誠心誠意九電と話しをしていく。



小松地獄付近にて

工事申請や 陳情の処理は

問 住民による、陳情や、工事の申請が多く出て今70〜80件の処理が残っていると聞いているが、住民サービスを向上させるためにも早く進めてほしい。

鳴子川の整備事業、ダムの中止による事業と合わせると相当の事業量になると思われるが、担当課の体制は大丈夫か？職員の増員を考えては？

今の職員で 努力してもらう

答 陳情については、あまり長くないうちに、返答を出しており、工事申請については、今担当に指示して測量会社等に委託して事業を進めている。

今ある人員で、最大限利用して、できないものは委託してやっていく。

九重町に 風力発電を

問 町内に風の強い地区が多いが町としての調査計画があるか？又個人的には実現できないか？



地域の要望で調査

答 地域の住民から要望があれば現地調査をしたいと思います。又個人的になると一基当たりの負担が高額なものになるので、難しいと思います。



九重町でも風力発電の設置が可能では

猪牟田ダム中止 地域振興策は

町長／現在進行中



佐藤 勝憲

**県道飯田高原
中村線の進捗状況は**

現在進行中

問 町単工事は進んでいるが、県道飯田高原中村線の県工事がまだ見えてない。

振興策は5ヶ年計画でやる。一日も早く県工事をやってもらいたい。

答 県道のダム振興の關係については、河内の關係は地権者等に用地交渉を始めて一名と共有林を残すだけです。交渉が整えれば本設計と進みます。県道飯田高原中村線は、210号より茅原小野の

区間は基本測量が終わり、地元説明、役員会を行ってきたところなんです。14年度測量等終わった所は、一部用地交渉を開始しております。



猪牟田入り口付近

町内業者の育成は

問 業者の選定はどうなっているか。一業者が、町の発注する工事の40%以上落札している。地元業者に努力するように指導して、又町内業者も入札をして下請業者に出す場合は、町内業者に仕事をさせる様に指導してほしい。

鳴子川整備事業が大きいため、地元業者も努力して取れるように指導していく事。

町内業者優先

答 指名については、町が発注する工事請負契約に関する指名基準の条例に基づいて行われます。

入札は要綱に従って公平、公正に行っており、40%と多く取った業者を指名から外すことは、現状の一般競争入札に移行する時代に逆行すると考えられます。町内業者の育成の大きな目標を掲げまして町内業者を優先的に指名を行っております。

町長会で議論

答 各種委員の報酬は決

各種委員の報酬は

問 農業委員会の長、監査委員の報酬を考えてもらいたい。

して高いとは思っておりませんが、現在は玖珠町と同一歩調でやっております。

農業委員会では類団から行くと若干安い、費用弁償の事があるからわかりません。近隣の町村を比較して平均して見ま

すと、湯布院町よりは高いが、後は九重町が安い状況です。

監査委員さんも類団からいきますと若干高い様です。今後も類団とかを調査しながら、町長会でも十分議論をしたいと思っています。



拡幅改良が望まれる

解説

「類団とは同じ様な規模の自治体の事を言います」



合併振興計画の 早期検討を

町長／住民の声を生かした町づくり



梅
木
征
治

問 法定協議会も3回目が開催され、今後の町づくりが本格的に論議される。九重町としても九重町の町づくりを独自に検討することが必要では。又合併にあたり大型事業が取りざたされているが、新しい町の負担が多くなると思われる。重複施設の整備をさけることが重要である。今後の取り組みは。

住民の声を生かした町づくりを

答 十月一日に法定協議会を設置して新しい町づくりが本格的な論議が始まる中で、今まで九重町の町づくり構想がどのようにに継承され生かされるか。専門部会・企画部会等充分に検討し、建設計画に反映するよう努力します。

水質汚染 日出生台 大丈夫



日出生台演習場内

問 日出生台演習場は明治33年より軍事演習が行われているが、町水道の水源地もあり、観光地もあるが、水質汚染等町独自の調査の必要があるのでは。

水質調査を 毎月実施

答 湯布院の業務隊で毎月調査が行われているその内容データを今後は四者協（県、九重町、玖珠町、湯布院町）の中で要求をしていきたい。

畜産物処理施設（堆肥舎） 固定資産税の免除を

問 畜産物処理に関する法律が、16年4月1日より施行に当たり農家は施設整備が急がれているが、農家は負担が大きいので固定資産税の免税は出来ないか。

減免申請を

答 農林大臣の証明が必要となります。担当課の方で直接指導して行きませんが、詳しいことの問い合わせは農林課の係まで尋ねてください。



必要視される堆肥舎



玖珠郡合併協議会に 関する質問

定期的に合併情報を

町長／情報提供に努める

問① 玖珠郡合併協議会が10月1日に設置され、合併の是非を含めた合併協議が進められているが、協議会での主な協議結果やその他の合併情報を住民にわかりやすく定期的に知らせるべきである。本年度の協議会事業計画に、『協議会だより』を11月・1月・3月に発行することや、『住民説明会』を11月・3月に実施すること』が決まっている。しかし、現在（12月11日）までに、どちらもまだ実施されていない。急ぐべきである。

問② 1月初めに玖珠郡内全戸に配布するとなっている「玖珠九重地域将来ビジョンの概要版」は、その趣旨から考えると、早期配布と住民の多くが読めるような工夫が必要ではないか。

答① 合併協議会だよりの発行が、計画より少し遅れています。

これまでの協議会で決まったことから、住

民に知らせたい、いくつかの点については、是非載せるように協議会に要望します。また、広報「このえ」の別冊合併特集号の発行は、予算的なこともありますが、前向きに取り組みたいと思います。

答② 「将来ビジョンの概要版」の全戸配布は、九重町では年内にできるのではないかと思います。また、住民に読んでもらえるようなものを添えて配布するようにしたい。



玖珠郡合併協議会会議

新市建設計画に 民意の反映を

問① 16年6月頃までに策定が予定されている新市建設計画に、住民の意向が十分反映されなければならぬが、住民懇談会・住民アンケート・講演会等の実施を含めて、計画に民意をどのように反映していくのか。

問② 建設計画の策定にあたっては、現在不利な状態にある周辺地域の整備、例えば交通の便が悪い地域に暮らす高齢者向けに福祉バスを走らせるとか、その他、町づくりの具体策を計画にできるだけ盛り込んでもらいたい。

住民と

十分論議する

答① 建設計画の策定に協力を依頼する専門業者が明日（12月12日）決まります。現時点では、住民懇談会やアンケートの実施時期などが答弁できませんが、住民と十分論議した計画をつくりたい。

答② 住民との意見交換の中で、可能な限り具体的な事業を拾い上げて、建設計画に何らかの形で上げていくことは当然必要だと思っています。

不作による 農家の支援をどうする

町長／基盤強化を推進



坂本憲治

質 今年は、長雨による冷夏で農作物の生産販売状況は非常に厳しい状況におかれています。
今年の反省と来年度の取り組みについて伺いたい。



黒猪鹿のホウレン草畑

答 平成14年度生産額は約46億ですが、15年は前年の80%を見込んでおります。
トマト、白ネギ、キャベツ等については、安値補償を推進しておりますが、日本、九州での単価

で補償額が決まって行きます。
次年度の生産強化の為に農家の基盤整備を確立していき、前年並みの施設導入と価格安定に対する所得保障に対する助成とか支援に努めていきます。

21世紀型農業を

問 今日の速い動きの農業状況の中では、即効性のある動きが必要と考えられる。
行政、関係団体、生産者が連絡を密にし、情報

収集と内容、効果等を早く分析し、時代に合った新しい21世紀型の農業構造改革を推進すべきだと考えるが。



棚田保全をしながら中山間の圃場整備が行われる中板地区

将来の あるべき姿を

答 現在認定農業者194名ございます。所得600万円を目指す農家ですが、70%を超える人が既に到達しております。
私共の立場としては、農協との役割分担がありまして、両者一緒になって努力していきたいと思っておりますし、皆さんとも一緒になって講師等呼んで将来のあるべき姿というものを勉強し努力したいと思います。





人材育成の強化を

町長／交流の場作りをする

問 教育委員会は、若者や女性の人材育成、十分に出来ていると思うか、教育長の認識を伺う。

20・30年後には、今の若者がこの町を担って行く。

今こそ、若者や女性の組織活動への動機づけや、その支援に力を入れていただきたい。

平成16年度の教育基本方針の柱の一つに入れ、取り組みの強化をすべきだ。

答 現状の中では非常に難しい問題で、結論を出すには至っていません。

今後は、地域おこしや青少年の健全育成を目指す自主グループなどへ参加、協力をしてくれる青年層を増やし、広げていきながら、合わせて個別に活動している地域づくりや人づくりグループ間の交流の場づくりを促していこうと考えています。

アートランド九重 事後処理が大事

問 『アートランド九重』

は、1haのガラス温室で総事業費2億5千8百70万円、補助金は、国県で1億2千9百35万円、町が1千25万3千円出しているが、現在は、第三者が占有、国の会計監査が入ったらどうなるのか？



アートランド九重 今後の行方は

町費を1千万以上出している。町長この投資効果を出すためにも、今後の事業処理が大事だ。

競売で取得を目指したかどうか。町が取得出来ればリース農園等、考えられると思うが…？

競売に 参加して欲しい

答 適化法22ですが、残存賦課の補助金相当額を返還する処理を町は県に、県は国に承認申請をするという形で、国・県から財産処分の承認を九重町にいただけないだろうか相談しています。

リースについてJAとも話をしたが、現体制では極めて難しい状況です。先進的で、優良な農家の皆さん方に、何とかこの競売に参加して欲しいという取り組みをしています。

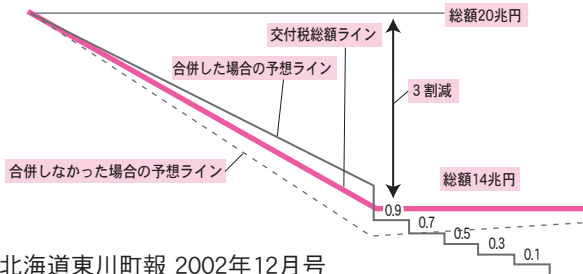
市町村合併協議の 広報公聴の充実を

問 偏りのない情報提供と広報公聴活動の充実を……！

①合併した場合と、なかった場合の交付税の推移予想図の修正を、誤って理解している方がいます。町報で、北海道東川町の様なイメージ図の記載を。

②合併特例債の約35%は借金です。特例債の記事・表を出す時は、この事も書き添えていただきたい。

地方交付税の推移予想（イメージ図）



北海道東川町報 2002年12月号

先般の法定協で、対等合併とは、枠組みの事で内容は、人口規模等を考慮して決めると言っていた。12月の全員協議会で、九重町議会としては、合併した時「議員任期」の特例は利用しない。議員数は同数の小選挙区で3回まで小選挙区としその後全市一区としていたきたいと決めた。

幹事会、法定協で十分な協議をしていただいた。以上質問とお願いとする。

答 交付税の推移ですが、今まで国・県はそういう説明をして来た。説明不足の面もあった。充分これから説明していきたい。

特例債ソフト面も入ると百億超ですが、最大使っても3分の1くらいしか使えないと思っています。

議員定数の事です、評価をしています。重要なものからの議論を、真正面から取り組んでいきたい。



田辺 誠之助さん

九重町のみらい

九重町は農林業が中心として発展してきた町村であり、又近年観光業もその内にある。今、農林業は低迷し町民の生活基盤が失われようとしている

る。

また、少子高齢化は進み所得も落ち込んでいます。こんな中で私は農林業に一層の力を入れることが九重町の発展につながるのではないかと思います。

今、玖珠九重の合併に草案づくりがされているが、これを見る限りあまりにも良い事ばかりで文句の付けようがない案であると思われる。しかしこんなにもうまくいくのでしようか不安です。一層の知恵と英知を絞って審議される事を望む。



ハウスなど利用、農産物づくり

わたしのひとこと



自然の力



藤井 衛子さん

ベストセラーになった『バカの壁』を読んで常識とは何なのか改めて考えさせられます



雄大な飯田高原の魅力

した。知識をたくさん持っている。知識がわかるから「常識がある」と言えるのではありませんし、「わかる」ことはそんなに簡単ではないのです。常識とは「人間であればこうだろう」と言うことなのだと著者は言います。

最近、悲惨な事件が次々と起こっていますが、それは常識が薄れ始めているからなのかもしれません。

こんな時いつも思うのはおらかなくじゅうの自然です。葉を落とし枯れ木のようになった木々の中で眠っていた山に花笑（はなえみ）の彩りが加わり、ほどなく新緑が深緑に変わり、山々や草原に風の香がそよ吹きます。やがてススキの穂が金色銀色に輝き秋野へと移り、草木の葉色が錦に染まります。そしていつの間にか花を散らすような雪が舞い始め、木々の枝には霧氷が煌めくのです。

自然には、「人間であればこうだろう」という普遍的な考え方、常識を取り戻させてくれる大きな力があるように思えてなりません。

こんな町にしたい

きれいな飯田は私の自慢

飯田小学校6年
赤峰由理花さん



6年生は、2学期に総合の時間で「飯田をPRしよう」という学習をしました。観光客の多い飯田の魅力について、グループに別れて調べ、ポスターやガイドマップ・パンフレットを作りました。

「私たちのグループは「筋湯のちよつと立ち寄れる温泉」について調べました。自然・人柄・食べ物で訪れた人みんなを笑顔に、そして幸せな気分にしてくれる所だと感じました。だから毎日たくさん観光客が来てくれるのだと思いました。けれど残念なことにこの学習を通して、今の飯田はすごく汚れている気がしました。観光客だけでなく、地元の人でも「ぽいつ」と捨ててしまう大人が多いのではと思います。

「飯田は「世界の百選」に五つも入っていると聞いています。これは飯田の人達の誇りです。私たちが行った温泉はすごく気持ち良さそうでした。入りたいなあと思いました。

21世紀4年目となる二〇〇四年となりました。昨年はイラク問題に象徴されるように大波乱の年となり加えて国内的にも長雨冷夏等世界も日本も今大きな岐路に立たされています。

二〇〇四年が希望と安心の新世紀創造に向けて確かな一歩を踏み出す1年となる様に願っています。編集委員会も住民の目線で知りたい情報を早くわかりやすく的確にお届けするつもりです。町民の皆様のご協力をお願いします。

佐々木

議員リレー

随想

34

一人ひとりが主人公



江藤 一幸

明けましてお目出とうございます。
「新年を迎え新たな気持ちで今年の計画を立てている事と思います。」
「昨年は冷夏、長雨で農業や観光等大変な一年でした。今年も、少々の異常気象では、びくともしないそんな一人ひとりの、家業の構築を期待します。」
「頑張っている町民の皆さんの応援として、町長をトップに四役・職員・議員共々に力を合わせて、役割

を果たして行きたいものです。
「市町村合併もいよいよ大詰め、新しい「市」になるか、現状の「九重町」で行くか。国や県はアメとムチで強引に進めています。しかしこのアメとムチ、気をつけないうちに虫歯になったり、腹痛になったりしそうです。」
「地方交付税は、合併してもしなくても下ります。合併特例債も、使えば使うほどに利用額の約35%の負債が増えます。」

「今後の町づくりは、少子高齢化の中、合併してもしなくても大変です。そんな中どんな町づくりの絵が描けるか、四役や職員・議員だけに任せるのではなく、町民一人ひとりがこの事に対して真剣に考えていただきたい。」
「疑問や提案が有る時は、身近な職員や議員に話して下さい。九重町（地方自治）の主人公は、皆さん一人ひとりであります。」
「今年もよろしく願います。」

